

マイコン・システム全自動洗濯脱水機
コイン仕様

トスオート

CFW-300

取扱説明書

TOSCI 東静電気株式会社

まえがき

このたびは、東静電気の“トスオートCFW-300”をお求め下さいまして、誠にありがとうございました。トスオートはマイクロコンピューター全自動水洗機として数々の特徴をもち、あなたのご期待に十分こたえ、お店の繁栄をもたらすものと確信いたします。

トスオートをご使用になる前にぜひこの「取扱説明書」をご一読下さい。

正しく取扱っていただければ、本機は常に調子よく働き、すぐれた性能をいつもでも発揮し、あなたの努力にこたえるものと信じます。

お読みになった後は、本機所定の場所に大切に保管して下さい。

全自動洗濯脱水機
トスオート

取扱説明書

目次

1. 洗濯脱水機安全上のご注意	2
1-1 危険	3
1-2 警告	3
1-3 注意	4
2. 据付け工事	5
2-1 運搬、搬入	5
2-2 機械の据付け	5
2-3 電気工事について	7
2-4 配管工事について	8
3. クリーナーの概要	10
3-1 主要構成部の役目と働き	10
4. クリーニング作業開始まえに	12
4-1 運転前の機械点検	12
4-2 洗濯物の選別	13
4-3 洗濯物の計量	13
5. 使用方法（お客様用）	14
5-1 お客様用の使用方法	14
5-2 トラブル表示	15
6. 使用方法（オーナー用）	16
6-1 フロントアッパーを開ける	16
6-2 操作盤について	16
6-2-1各スイッチの説明	17
6-2-2変更スイッチ	19
6-2-3表示部	21
6-2-4工程セット表示	21
6-2-5トラブルモニター	22
6-3 コース別料金の設定方法	23
6-4 予洗の時間を変更する時	23
6-5 本洗の温度を変更する時	24
6-6 本洗の水位を変更する時	24
6-7 すすぎ2を削除	24
6-8 本洗の前で一時停止する時	25
6-9 中間脱水の追加とカップ投入の削除	25
6-10一回香込みをする場合	25
6-11時刻の修正	26
6-12洗剤投入時間の変更方法	26
7. 手動運転の操作例	27
7-1 ドラム回転を行う場合	27
7-2 洗濯	27
7-3 脱水	28
8. 標準プログラム設定内容	29
9. コインの点検回収	30
9-1 コインの回収について	30
9-2 コインセレクターの点検	30
10. 軸受部への給油	31
10-1 ベ어링部の給油	31
10-2 オイルシール部の給油	32

1. 洗濯脱水機安全上のご注意

安全にお使いいただくために—必ずお守りください

- この取扱説明書「安全上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

お買い上げいただいた、製品（本機）および取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視し、誤った取り扱いをして危険を回避できなかった場合死亡、重傷、焼損を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1-1



危険

- ◆ 運転中は危険ですので、回転部に手や身体を入れないで下さい。
巻き込み等けがの原因となります。
- ◆ 衣類の出し入れは、必ずドラムが停止してから行って下さい。ドラムが回転中に絶対にドアを開いたり、手を入れたりしないで下さい。
- ◆ 本機の後カバーを外したままで絶対に運転しないで下さい。
「高速回転」している部分に触れたり巻き込まれたりして、ケガをする原因となります。
- ◆ 運転中は、ドアの開閉はしないで下さい。
- ◆ 何か緊急に機械を止めなければならない時は、機械の電源及び元電源を切って下さい。

1-2



警告

- ◆ 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対おやめ下さい。
- ◆ 万一、本機の内部又は電装部等に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆ お客様ご自身で本機を修理・改造はしないで下さい。
火災・感電の原因となりますので、絶対におやめ下さい。修理に関するご相談は、別紙「取扱説明書」をご覧ください。販売店に修理をご依頼ください。
又、警告ラベルの取り外し、破損、改変はしないで下さい。
- ◆ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないで下さい。
機械が振動し故障の原因となります。
- ◆ 本機の上に毛布、シーツ等の品物及び容器類、金属類を置かないで下さい。
火災や故障の原因となります。

- ◆ 本機上部のスイッチボックス蓋を外す時は必ず元電源を切って下さい。
感電の恐れがあります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼下さい。
- ◆ 落雷の恐れのあるときは、三相200Vの漏電遮断器の電源を切って下さい。
マイコン、インバータが破損する恐れがあります。
- ◆ 本機蒸気加熱部及び配管には、手で直接触れないで下さい。
やけどの恐れがあります。
- ◆ 本機械は衣類を洗濯・脱水する機械ですので、それ以外の目的で使用しないで下さい。
- ◆ トラブル解除の繰り返し運転はしない。
トラブル発生時はトラブルの原因を調べ、処置してから再スタートして下さい。
トラブルの原因を処置しないまま運転すると機械がより危険な状態を招く恐れがあります。

1-3



注 意

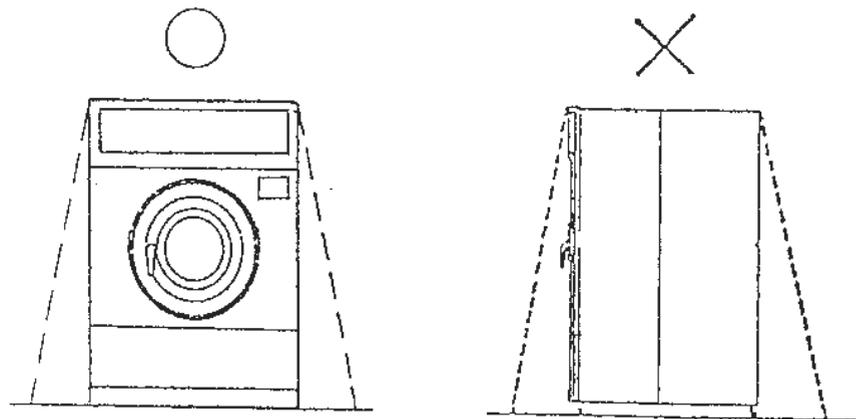
- ◆ 購入後、年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。
本機の内部に、ほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となる事があります。
掃除は、特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。
- ◆ 機械の操作は、「取扱説明書」を十分熟読し、理解した上で運転して下さい。
不慣れな者が運転する場合は、必ず熟練者立会いの上、運転させて下さい。
- ◆ 機械の接地（第3種接地工事）が完全に行われていることを確認して下さい。

2. 据付け工事

機械の性能を十分に発揮させ、かつ安全にご使用いただくためには、機械の据付、電気工事、配管工事を適正確実に実施しなければなりません。それぞれの専門の工事業者の方に工事を依頼して下さい。設置要領は、該当地区の条例及び条別によるほか次に従って下さい。

2-1 運搬・搬入

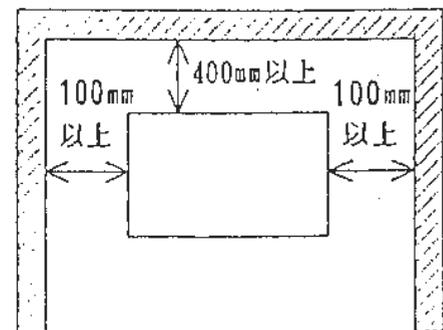
- (1) 機械の運搬・搬入に際しては、必ず機械の輸送止め金具を取り付けた状態で行って下さい。
- (2) 機械の運搬・搬入に際しては、極度の衝撃を与えたり機械の外装部に損傷を与えないように取扱って下さい。
- (3) 機械の運搬・搬入に際しては、降雨の場合には、必ず本体にビニールシート類を掛けて雨水が多少なりとも機械内（特に制御ボックスの中）に入らないように注意して下さい。
- (4) クレーン等で機械を吊り揚げる場合には、シェル上部の吊り揚げフックに掛けて吊って下さい。
- (5) 輸送する際、ロープ掛けして本体が傷まないように、ロープの締め過ぎに十分注意して下さい。また、ロープは左右から掛けて下さい。（前後には掛けないで下さい。）



2-2 機械の据付

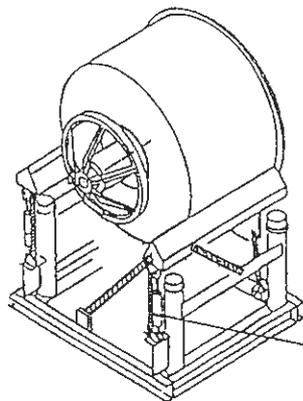
(1) 配管

- ◆ 機械の下記操作及び点検などを容易に行うため機械の両側面、後面は、右図寸法以上の空間を設けて下さい。
- ◆ 機器周辺が風通しの悪い場合、必ず吸排気用の換気扇を設置して下さい。
（上部換気扇）
（下部換気扇）
- ◆ 機械に取り付けてある輸送金具（前後にある赤サビ色の金具）を必ず取り外して下さい。取り外さないで運転すると異常振動を起こし、機械を損傷します。
- ◆ シェルを支えているバネに指を入れないで下さい。機械が揺れた時、挟む恐れがあります。



(2) 輸送金具の取り外しについて

試運転前に輸送用に固定してある金具を必ず外して下さい。



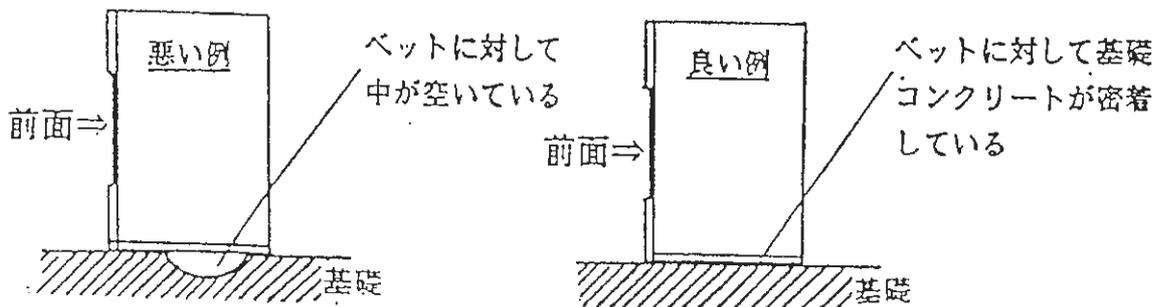
機種	個数
CFW-300	7

輸送用金具は機械の前後に
7本 取付してあります。

(3) 基礎工事

- ◆機械の据付は、水平な面に左右、前後共傾きのないように設置して下さい。
- ◆基礎の深さは地盤により異なりますが、コンクリートの厚さは約200mm～400mm 確保して下さい。
- ◆据付基礎工事によるトラブルを未然に防ぐため、下記の点に十分注意して下さい。

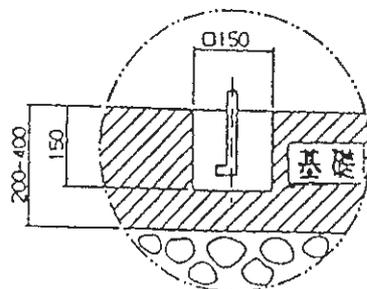
・据付方法



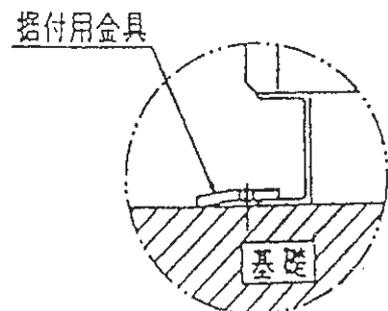
※基礎コンクリートに対して、排水口によってベットが完全に密着していない場合振動の原因になるケースがあります。

・アンカー取付

アンカーは、機械の前後各2ヶ所に必ず取付けて下さい。



φ12×6吋のアンカーボルト使用の場合



据付用金具使用の場合

・水平レベル

アンカーボルト取付時に機械の水平レベルを必ず出して下さい。

※付属のスペーサにて調整して下さい。

2-3 電気工事について

- ◆ 特殊インバータモーターを使用しております為、下記電気工事の注意事項に添った施行をして下さい。
- ◆ 配線工事は必ず電気工事士の資格を有する者が、行う必要が有りますので専門の工事業者に依頼して下さい。

(1) 電気容量

引込コードは、機械配線盤内のNFB（ブレーカー）に接続して下さい。

（機種別下記参照）

機 種	定 格 電 流	引 込 み コ ー ド
	30 (A)	より線 3.5 mm ² 単線 2.0 φ
CFW-300	40 (A)	より線 5.5 mm ² 単線 2.6 φ
	50 (A)	より線 5.5 mm ² 単線 2.6 φ

(2) 接地工事アースは、盤内の接地端子を利用して第3種接地工事（接地抵抗 100Ω以下）を施行して下さい。

(3) 電源の漏電遮断器(ELB) は、インバータ専用（感度電流 30 ~ 100mA）の物を使用して下さい。

（ 推薦品 … 三菱電気 NV-Sシリーズ、富士電気 EGシリーズ ）

*普通の漏電遮断器では、高調波漏洩電流により誤操作して使用不可となります。

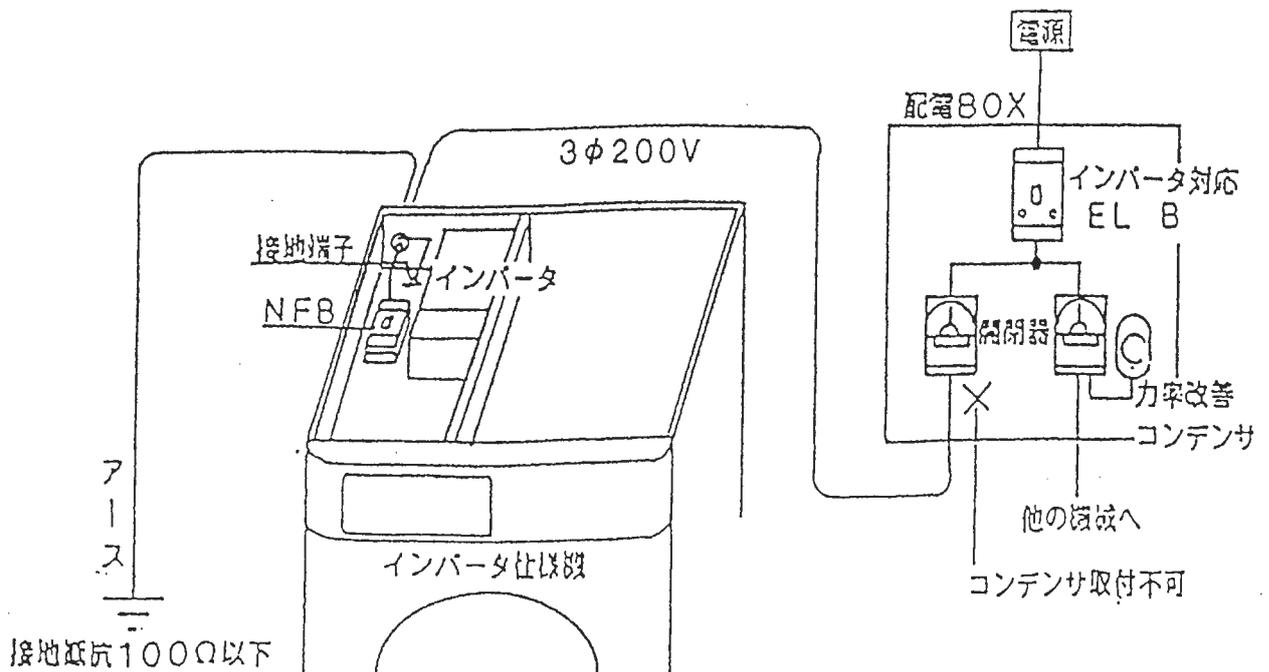
(4) 力率改善コンデンサは、絶対取付けないで下さい。

*コンデンサが取り付けると、インバータが破壊します。

(5) 電気配線は、出来るだけ金属線管またはフレキシブルコンジットで保管して下さい。

(6) 電気配線は、蒸気配管に接近させないで下さい。（15 cm以上離すこと。）

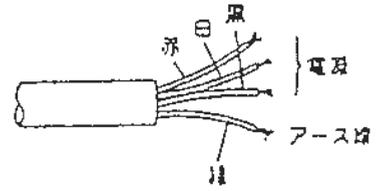
上記は、仮設工事でも必ず厳守して下さい。



(7) アース

◆万一の感電や落雷時における事故防止及び、制御回路の耐ノイズ性を向上させるために、必ず本器専用のアースを設けて下さい。

◆電源コードは4芯のキャプタイヤケーブルを使用していますがその内“緑色”の線がアース線ですので、付属のアース棒を用いて、本機単独の第3種接地工事をして下さい。



◆次のようなところには、アース線を接続しないで下さい。

①水道管 … 配管の途中で塩化ビニール管の場合は、アースされません。

②ガス管 … 爆発や引火の危険があります。

③電話線のアースや避雷針

… 落雷の時おおきな電流が流れて危険です。

2-4 配管工事について

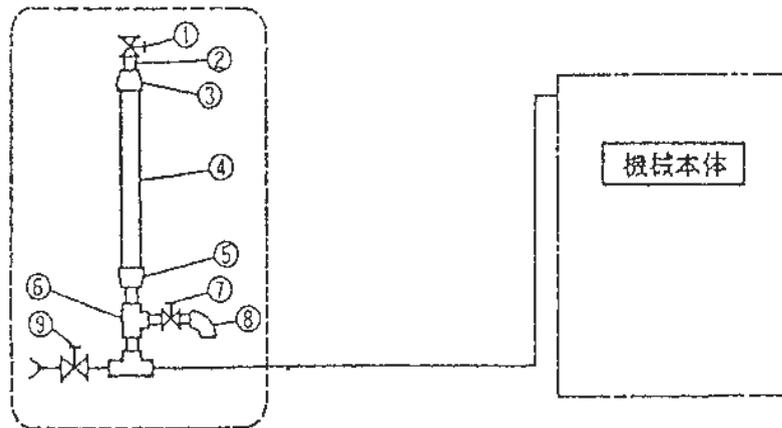
(1) 給水配管工事

給水元バルブを開いて、水量、水圧 (2 kg/cm²) を確認する。

① 水圧が2 kg/cm²未満または、シスタンクを使用している場合は、給水に時間がかかり、トラブル表示“水位”が点灯する場合があります。

② 水圧が高い場合は、ウォーターハンマーが起き、給水弁あるいは配管を破損する恐れがありますので、別途防止策を行って下さい。

水圧が高い条件でご使用される場合は、必ずウォーターハンマー防止の配管を行って下さい。



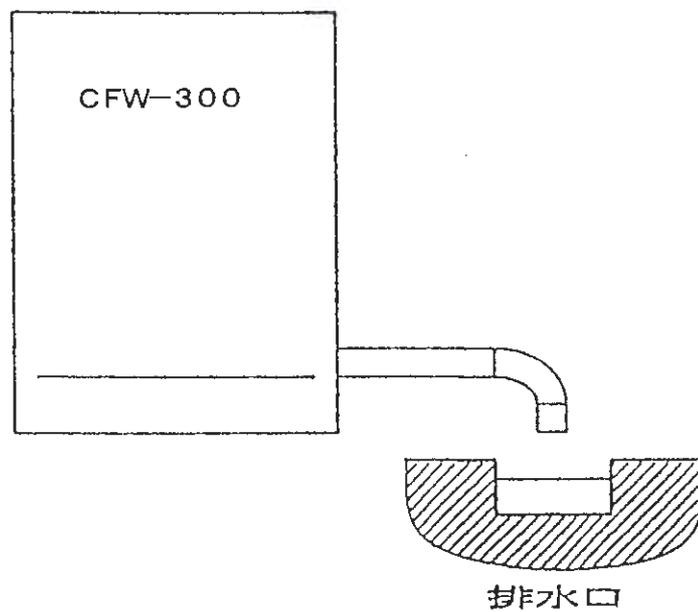
№	部品名	型 格	№	部品名	型 格
①	ストップバルブ	1/2"	⑥	異径チーゾ	1"or 1 1/4"
②	ニ ッ プ ル	1/2"x32	⑦	ストップバルブ	1/2"
③	異径ソケット	2"x1/2"	⑧	エ ル ボ	1/2"
④	パ イ プ	2"x680	⑨	スリースバルブ	1"or 1 1/4"
⑤	異径ソケット	2"x1"or 1 1/4"	⑩		

(2) 工事上の取扱いの注意点

- ①機械本体より、1~2 m 離れた位置に取り付けして下さい。
- ②⑨のスリースバルブは、必ず取り付けして下さい。
- ③一ヶ月に一度⑨を閉じ、①・⑦のバルブを開きウォーターハンマー防止管内の水を抜いて下さい。
- ④に水が溜まると、効果がなくなります。

(3) 排水配管工事について

- ◆排水管路は、ゴミ等のツマリで時々掃除することがあるため、着脱出来るように配管して下さい。
- ◆排水パイプは、配管途中で立ち上げないで下さい。



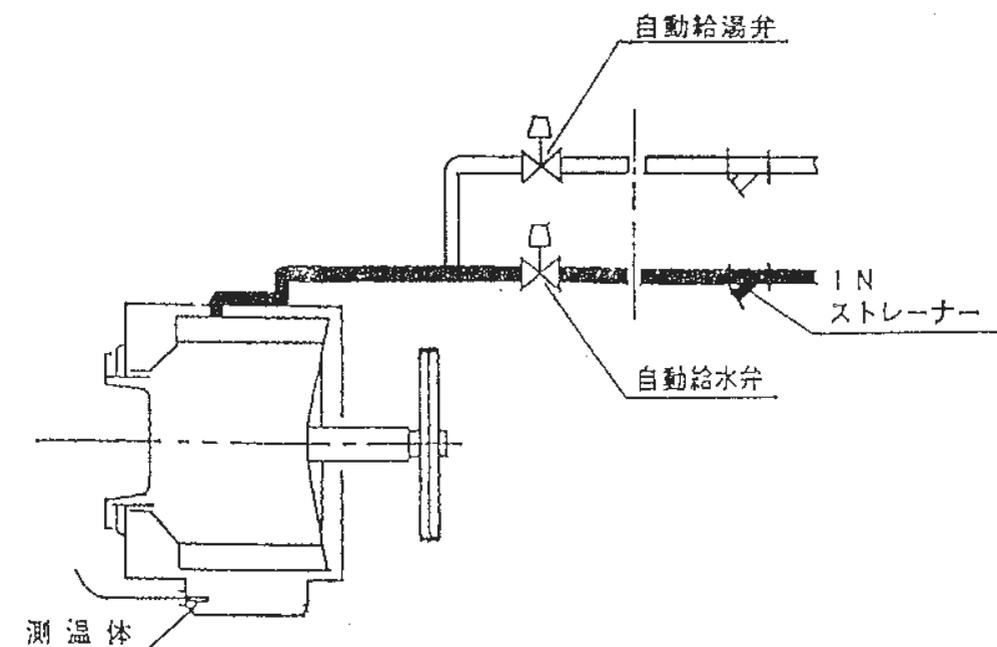
3. クリーナーの概要

3-1 主要構成部の役目とはたらき

“トスオート”の主な構成部と各々の役目とはたらきは次の通りです。

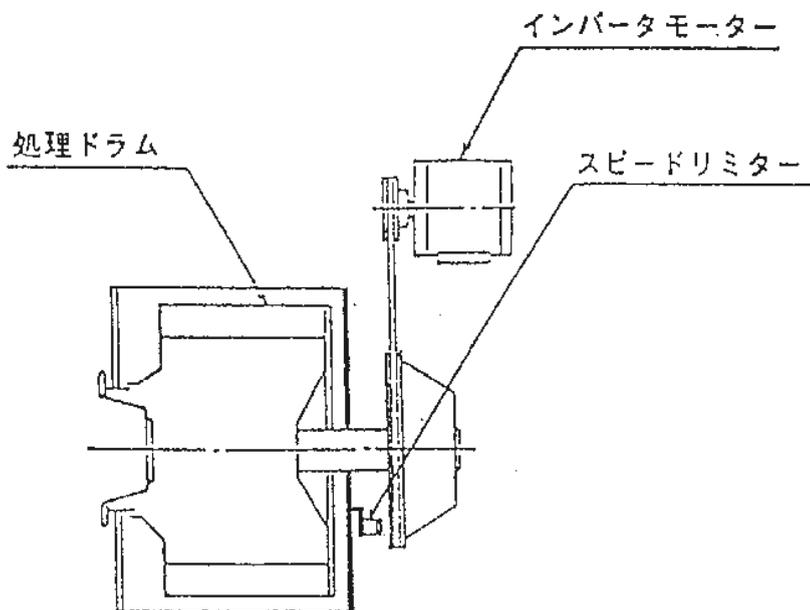
給水系統

- 水用ストレーナー : 供給水に存在するゴミ、その他の異物を捕らえます。
- 自動給水弁 : マイクロコンピューター制御により自動的にドラムへの水を供給したり停止したりする弁です。
- 自動給湯弁 : マイクロコンピューター制御により自動的にドラムへの温水を供給したり停止したりする弁です。
- 測温体 : ドラム内の水温の変化をマイクロコンピューターに伝えます。



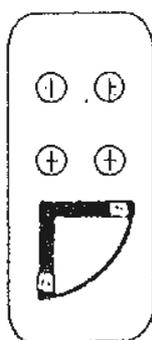
動力電連部

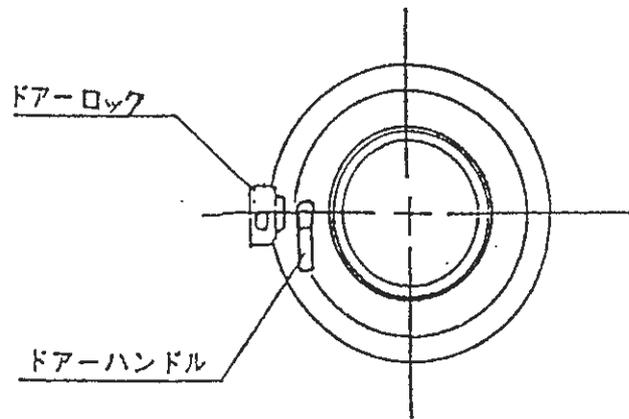
- 処 理 ド ラ ム : ステンレスに多孔の特殊加工したプレートで構成され、ドラム内部には洗濯時のスクイーズ作用のための棧が円周に配置されています。多孔プレートは一方向よりダボ出し加工されており、衣類のホック、ピンなどが引掛からぬよう配慮してあります。
- インバータモーター : 洗濯の低速回転から脱水時の高速回転を1台のモーターで行い、しかも低速から高速への移行をインバータ(周波数)制御にてスムーズに行う無段変速モーターです。
- スピードリミター : ドラムの回転数をマイクロコンピューターに伝える、回転検出装置です。



ドアフロント部

- ドアースイッチ : ドアフロントの開閉を確認するスイッチで、ドアを開めると自動運転が可能になります。
(注意—ドアハンドルが不完全な場合、ドアースイッチがONせず、機械が運転できない場合があります。)
- ドアロック : このロックは機械運転中、あるいは内筒内に高水位まで水が入っている場合ロックします。





電気制御部

- コントロールプレート：機械を運転する操作スイッチや、動作表示を行うランプやデジタル表示灯が付いています。
- コントロールボックス：機械前・後部にある箱で、本機の働きを司るマイクロコンピュータや制御リレー等が入っています。

4. クリーニング作業開始のまえに

4-1 運転まえの機械の点検

点検項目	操作	確認
輸送用金具は外してあるか	輸送用金具を外す。	フロントドア部を手で前後にゆすって機械が大きく動けば良い。
排水管路は着脱可能か	ゴミ等のつまり時掃除することがある。	目視点検。
電気の供給は良いか	電源元スイッチを入れる。	ヒューズ容量を確認。
バルブの開閉は良いか	給水、給湯元バルブを開く。	給水 2~4 kg/cm ² 給湯 2~4 kg/cm ²
モーターの回転方向は良いか	電源スイッチ「入」で、手動「脱水」SW,「スタート」SWを押す。	ドラムが本機全面より右回転(時計方向)なら良い。
各部水洩れの点検	電源スイッチ「入」で、手動「洗濯回転」SW「水位“高”」SWを押し、「スタート」SWを押し、ドラム内に水を入れる。	ドアパッキン部、排水弁、その他目視点検。

1. 水圧が2kg/cm²未満又はシスタックを使用している場合は給水に時間がかかり、トラブル表示“水位”が点滅する場合があります。
2. 水圧が高い場合は、ウォーターハンマーが起き、給水弁あるいは配管を破損する恐れがありますので、別途防止策を行って下さい。

4-2 洗濯物の選別

洗濯物はあらかじめ種類別、汚れの程度別等に分類して洗濯を行って下さい。網袋を使うとバランス取り回転時に洗濯物が適当に分散されず機械は均衡を失って異常振動することがありますので網袋使用の洗濯には十分注意して下さい。

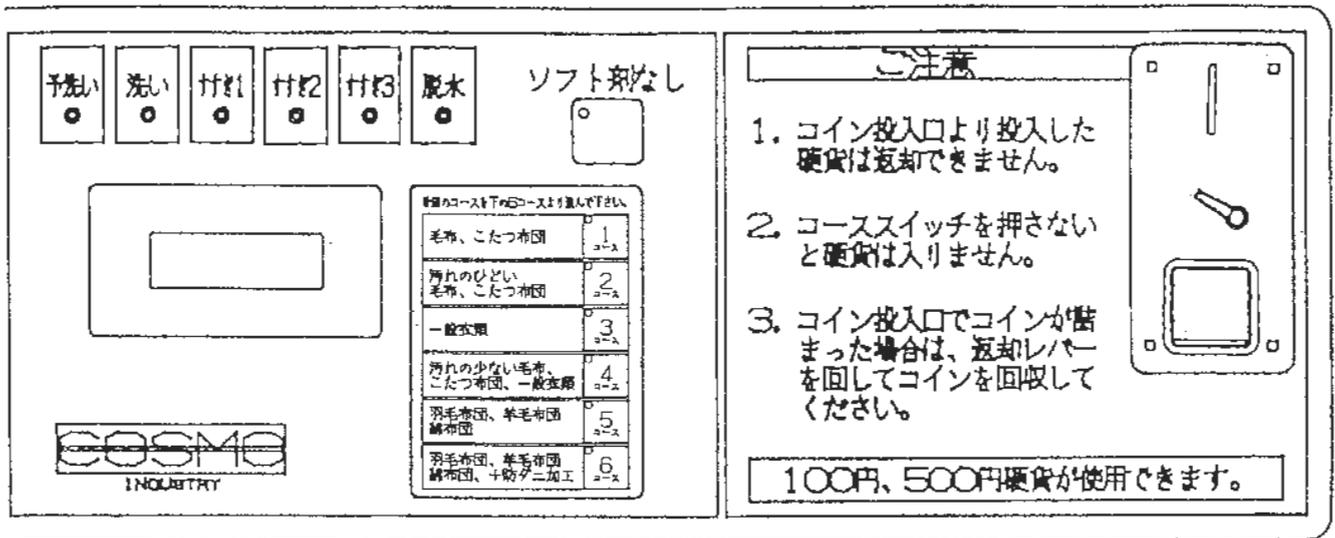
4-3 洗濯物の計量

1回に投入する洗濯物は下表の通りで多過ぎると洗濯の効果が落ち、又あまり少な過ぎても洗濯効果は半減しますので、規定負荷量での洗濯、脱水を行って下さい。

	最大負荷量	ワイシャツ	シーツ・ゆかた	布団
CFW-300	30Kg	130～140枚	65～70枚	2枚

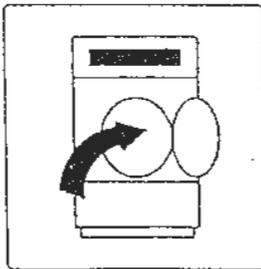
ニット物、毛布などのかさばり物は、負荷量の80%程度にして洗濯の方がクリーニングの効果がよく出ます。

5. 使用方法（お客様用）



5-1 お客様の使用方法

(1) 洗濯物を投入する



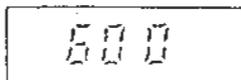
- ・洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉めて下さい。ハンドルは止まるまで確実に回します。

(2) 希望のコーススイッチを押し、コインを投入する

希望のコースを下のコースより選んで下さい

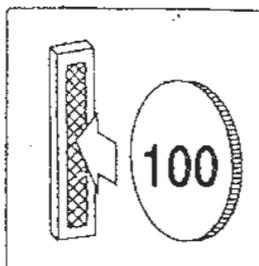
毛布、こたつ布団	1 コース
汚れのひどい毛布、こたつ布団	2 コース
一般衣類	3 コース
汚れの少ない毛布、こたつ布団、一般衣類	4 コース
羽毛布団、羊毛布団、綿布団	5 コース
羽毛布団、羊毛布団、綿布団、+防ダニ加工	6 コース

- ・希望する洗濯のコーススイッチを押して下さい。ソフト剤なし希望の方は、「ソフト剤なし」を選んで下さい。



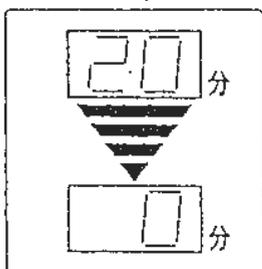
- ・「表示マド」のところにコーススイッチを押している間だけ料金が表示されますので、表示された料金をコイン投入口より投入して下さい。

（つり銭は出ません）



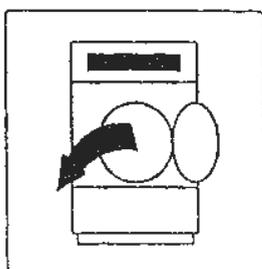
- ・指定の料金を投入すると運転を始めます。洗剤・ソフト剤は、自動投入します。

(3) 洗濯「残り時間」の表示



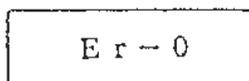
- 表示に数字が点灯している時は、運転中です。
ドラム蓋を開けないで下さい。

(4) 洗濯物の取り出し



- 表示の数字が「0」になれば、洗いが終了です。
終了すると、ピーピー音で知らせます。
ピーピー音が鳴り終わりましたらドアロックが解除されますので、ドアロックの解除を確認したのちドアを開けて洗濯物を取り出して下さい。

5-2 トラブル表示



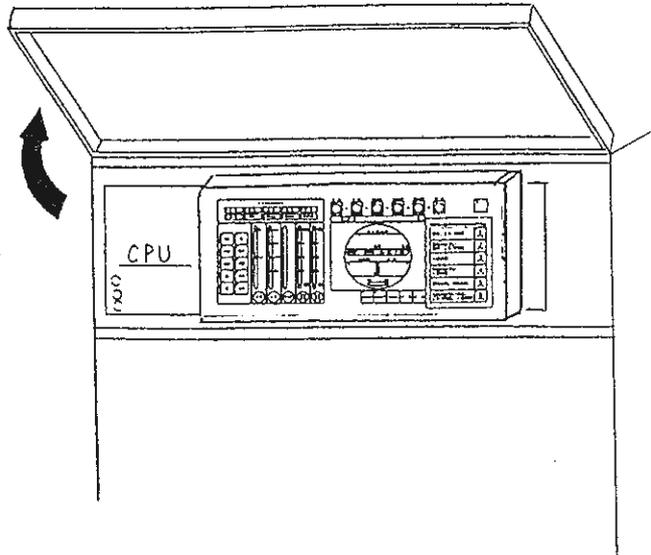
洗濯中にトラブルが発生した場合には、機械が停止して「ピッ」「ピッ」音が10回連続して鳴り、 表示にエラーメッセージが出ます。

エラー表示とエラー名

エラー表示	エラー名	エラー表示	エラー名	エラー表示	エラー名
E r - 0	停電エラー	E r - 3		E r - 6	パランス エラー
E r - 1	水位エラー	E r - 4	排水エラー	E r - 7	
E r - 2	水温エラー	E r - 5	ドアエラー	E r - 8	インパター エラー

6. 使用方法（オーナー用）

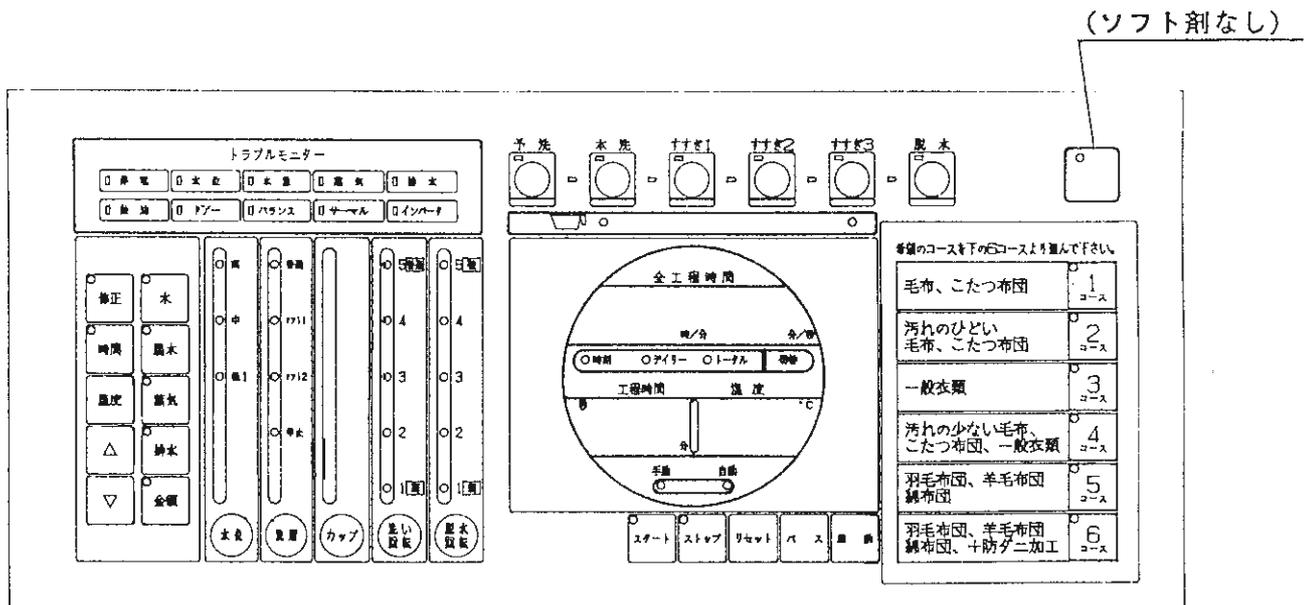
6-1 フロントアッパーを開ける



付属の鍵にてフロントアッパーを開けて下さい。

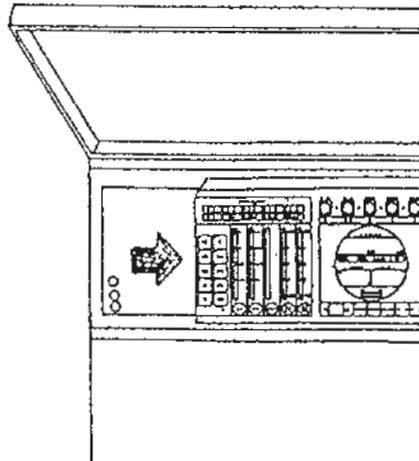
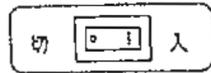
中に操作盤が取り付けられていますので、この操作盤により金額の設定、洗いのプログラム変更及びトラブル解除等の操作を行います。

6-2 操作盤について



6-2-1 各スイッチの説明

1) 電源



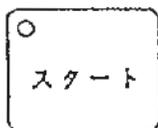
このスイッチは、操作盤の左側面に取り付けてあり、操作回路へ電気を供給するスイッチで、スイッチ「入」で各表示ランプが点灯します。

2) コース選択

毛布、こたつ布団	1 コース
汚れのひどい毛布、こたつ布団	2 コース
一般衣類	3 コース
汚れの少ない毛布、こたつ布団、一般衣類	4 コース
羽毛布団、羊毛布団 綿布団	5 コース
羽毛布団、羊毛布団 綿布団、+防ダニ加工	6 コース

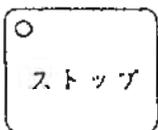
: 1～6のコース選択スイッチを押すことにより、被洗物にあったプログラムを選択出来ます。

3) スタート



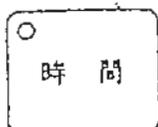
: 自動、手動運転コースのスタートスイッチで、一時停止（ストップスイッチ）後の再スタートのスイッチでもあります。
スタートスイッチを押すとランプが点灯します。

4) ストップ



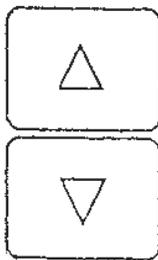
: 自動、手動運転の一時停止用スイッチです。

5) 時間切替



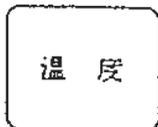
: 各工程の時間を修正するスイッチで秒セット、分セットが出来ます。工程時間左上にLED が点灯すると秒セットです。
時間の増減は次ページ (▲) (増) (▼) (減) スイッチで行って下さい。

6) 時間 (温度) 変更



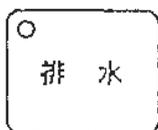
: 各工程の時間変更及び温度設定の変更スイッチです。
変更は (増) (減) で行います。
手動運転の時間 (温度) 設定もこのスイッチで行います。

7) 温度切替



: 各工程の温度設定の変更をする時は、このスイッチを押してから上記増減スイッチ () で設定して下さい。
設定温度は洗濯温度に表示されます。90℃以上の温度セットは出来ません。

8) 排水



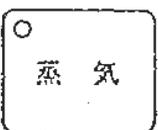
: 各洗濯工程の排水時ドラムの回転を止めて排水させるスイッチです。
通常は排水単独のスイッチで、スイッチを押している間は排水弁が開きます。
排水弁の保護のため、10秒以上おいてスイッチを押して下さい。

9) 給水



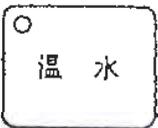
: 洗濯 (予洗, 本洗, すすぎ,) に使用する水の設定スイッチです。
運転中でもこのスイッチを押すと任意に給水出来ます。

10) 給蒸



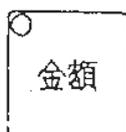
: 洗濯水の温度を上げる「給蒸」設定スイッチです。
このスイッチをセットしたら温度設定して下さい。
運転中でもこのスイッチを押すと任意に給蒸出来ます。(CFW-300 は、設定できません。)

11) 温水



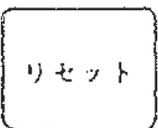
: 温水仕様として温水弁を増設することにより使用可能となります。
洗濯水に温水を使用する時の設定スイッチです。
このスイッチをセットしたら温度設定して下さい。

12) 金額



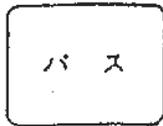
: 修正モード中、このスイッチが押されると、そのコースの動作開始金額を設定出来ます。

13) リセット



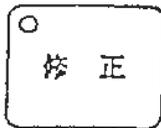
: いつでも電源「入」の状態にもどすスイッチで自動、手動運転中は必ずストップスイッチを押し、一時停止にしてからリセットスイッチを押して下さい。

14) パス



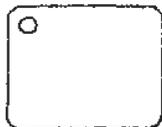
- : 自動運転コースの省略スイッチで、自動運転中にこのスイッチを押すと、現在行われている工程が終了し、次の工程に進みます。
- : プログラム修正の時、省略する工程スイッチを押してからパススイッチを押すと、その工程はコースより省略されます。
- : 工程表示がフラッシング中は、パススイッチを押してもパス出来ません。

15) プログラム修正



- : 各コースのプログラムを修正する時は、このスイッチを押してから（ランプが点灯）1コース～6コースの内容を修正すると、各コースに修正内容が記憶されます。

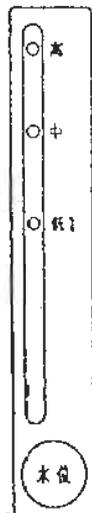
16) (ソフト剤なし)



- : このスイッチを押すと（ランプが消灯）ソフト剤の投入を行いません。コース選択スイッチを押した後、有効となります。このスイッチを押した後、コース選択スイッチを変更すると解除されてしまうので再度このスイッチを押して下さい。

6-2-2 変更スイッチ

1) 水位

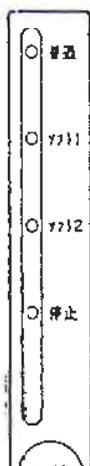


- : 各洗濯工程（予洗、本洗、すすぎ1、2、3）の洗濯水の設定スイッチで、低1～高水位が任意に設定できます。

（選択した所のランプが点灯します）

コース	設定	水深度	水量
1～4	低1	4度	95ℓ
	中	7度	175ℓ
5～6	低1	3度	70ℓ
	中	4度	95ℓ
	高	8度	200ℓ

2) 洗濯



- : 洗濯モードの切替スイッチで4つのモードを任意に選択出来ます。

（選択した所のランプが点灯します。）

- ・手動運転の選択モードのスイッチも併用します。

モード	運転時間（秒）	停止時間（秒）
普通	8	3
ソフト1	5	15
ソフト2	0.75	5
停止	-	-

3) 投入カップ



「本洗」工程と「すすぎ3」工程に洗剤投入を設定するスイッチで工程表示パネルに設定のランプが点灯します

4) 洗い回転



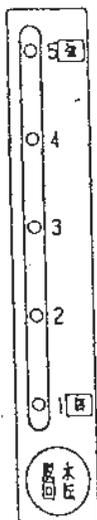
： 洗い回転の切替スイッチで5つの洗い回転を任意に選択出来ます。

(選択した所のランプが点灯します。)

・ 手動運転の洗い回転のスイッチも併用します。

洗い回転 設定	ドラム回転数 (rpm)	
	1～4コース	5～6コース
5	42	84
4	40	82
3	38	80
2	35	78
1	32	76

5) 脱水回転



： 脱水回転の切替スイッチで5つの脱水回転を任意に選択出来ます。

(選択した所のランプが点灯します。)

・ 中間脱水用のスイッチとして併用しています。

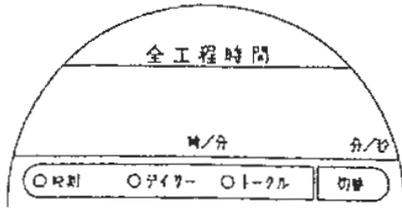
予洗, 本洗, すすぎ 1, 2, 3工程の後に脱水回転 1(弱)で中間脱水が設定でき、工程表示の中間脱水ランプが点灯します。

中間脱水を設定すると設定時間は「1～4コースは30秒」「5～6コースは60秒」自動的に加算されます。

・ 手動運転の脱水回転のスイッチも併用します。

脱水回転 設定	ドラム回転数 (rpm)	
	1～4コース	5～6コース
5	810	700
4	700	650
3	600	600
2	500	500
1	400	400

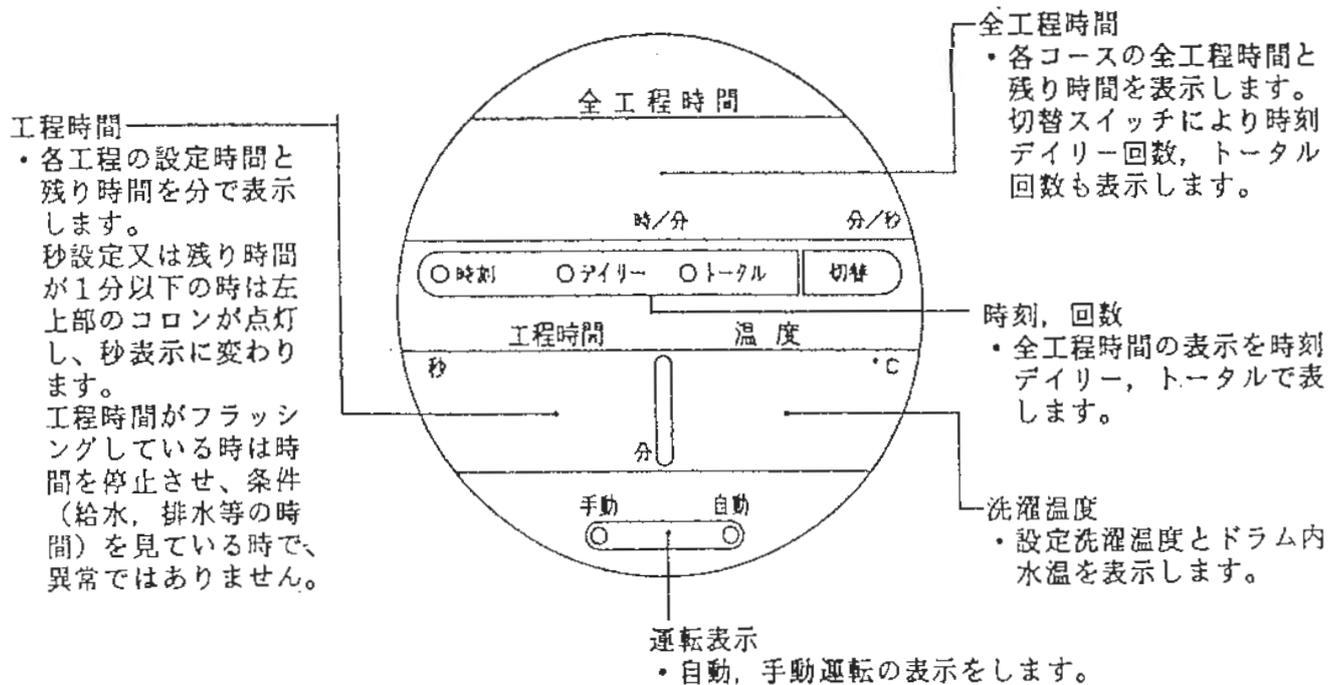
時刻、トータル、デイリー、切替



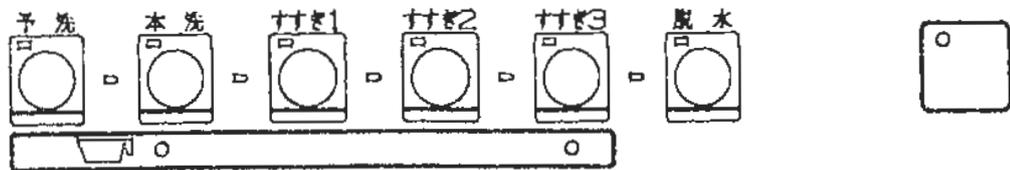
切替 スイッチを押すと、全工程時間から時刻表示に切替ります。再度押すとデイリー回数、トータル回数と切替ります。

- 時刻 現在の時刻を表示します。
修正 後、時刻にしますと「分」「秒」の時刻合せになります。
- デイリー 1日の洗濯回数を表示します。デイリー回数は自動的に1日で0にもどります。
- トータル 機械稼働時からのトータルの洗濯回数をこのスイッチを押すと表示します。

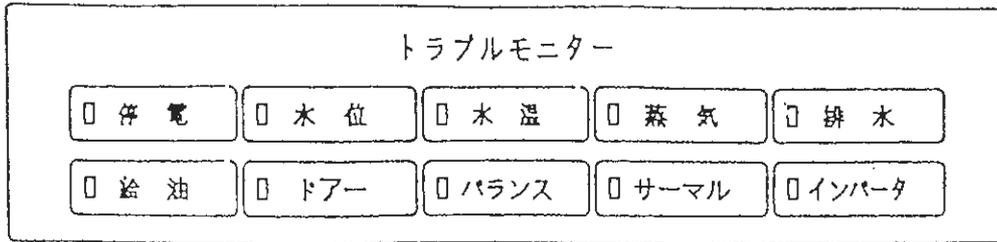
6-2-3 表示部



6-2-4 工程セット表示



1. 工程セットに使用するスイッチ（キー）です。
2. プログラム変更時は、工程セットの各スイッチ（キー）を押すと工程表示ランプ（赤）がフラッシングします。
3. 工程セットを間違えて入れた時は、削除したい工程の工程セットキーを押し、「パス」キーを押すことにより削除できます。



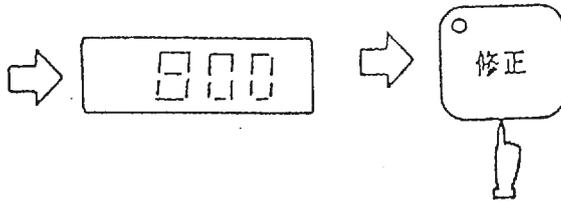
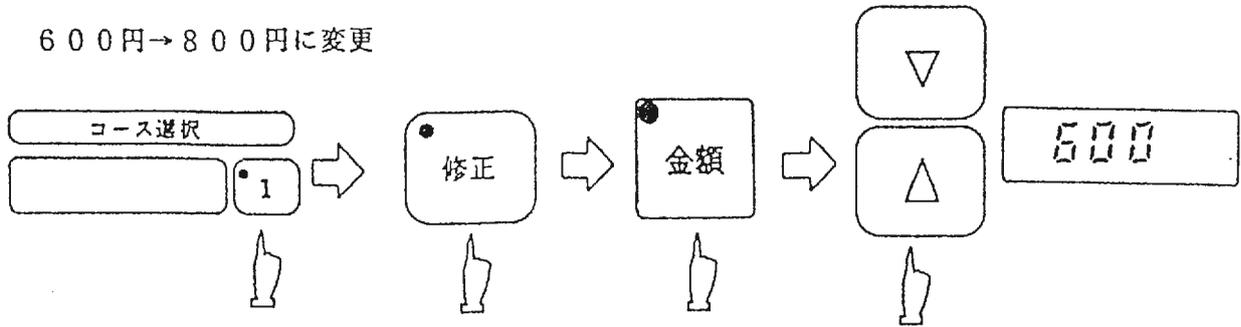
機械運転中に不具合があった場合、ブザーが鳴りトラブルモニターが点滅し、機械が一時停止します。トラブルの解除は、ストップ/スタート/リセットスイッチで、解除/再スタートを行うことができます。

マイコントラブルモニターの内容と復帰方法

LED名称	内容	表示方法		機械の動き	解除		
		LED	ブザー		ブザー	継続	終了
停電	運転中停電が起き、復電した時	点滅	継続音	一時停止状態を保持	ストップSW「ON」	スタートSW「ON」	リセットSW「ON」
水位	給水指示後15分経過しても設定水位に達しない時			一時停止状態を保持	ストップSW「ON」	スタートSW「ON」	リセットSW「ON」
水温	水温が95℃以上			ドラム回転のまま排出し、同時に給水する(温水弁はOFF)	ストップSW「ON」で機械停止	スタートSW「ON」	リセットSW「ON」
排水	排水指示後2分経過しても排水レベルを検出しない時			一時停止状態を保持	ストップSW「ON」	スタートSW「ON」	リセットSW「ON」
ドア	ドア開の時	点灯	—	—	ドア開	—	—
	ドア開のままスタートSWを「ON」した時	点滅	継続音	スタート不可	ストップSW「ON」又はドア開	スタートSW「ON」	リセットSW「ON」
アンバランス	1～4コース	アンバランス1～6回発生時～復帰中	点灯	—	自動復帰	—	—
		アンバランスを7回検出した時	点滅	継続音	一時停止状態を保持	ストップSW「ON」	スタートSW「ON」
	5～6コース	アンバランス1～2回発生時～復帰中	点灯	—	自動復帰	—	—
		アンバランスを3回検出した時	点滅	継続音	一時停止状態を保持	ストップSW「ON」	スタートSW「ON」
給油	トータルワッシャーが500ワッシャーを超えた時	点灯	—	—	510ワッシャー後自動解除	—	—
インバータ	インバータエラーが起きた時	点滅	継続音	一時停止状態を保持	ストップSW「ON」後NFBを入れ直す	—	リセットSW「ON」

6-3 コース別料金の設定方法 (コース 1)

600円→800円に変更

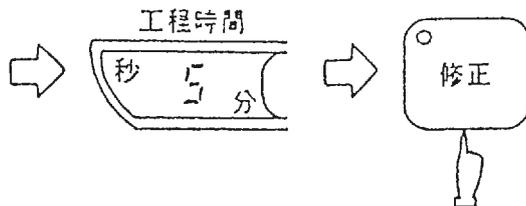
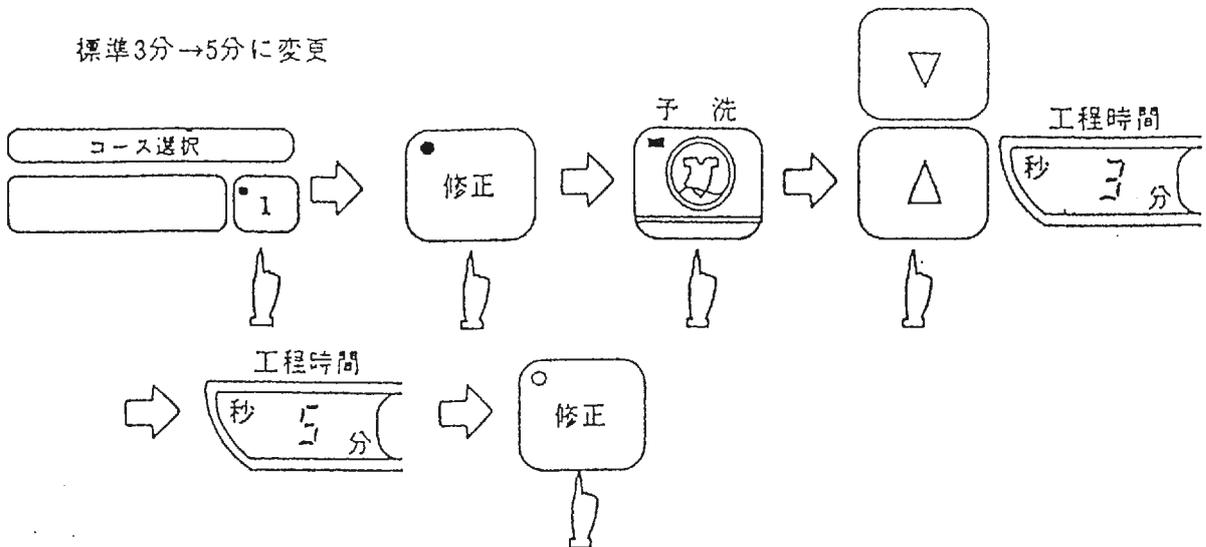


※ 他のコースも同様の操作

料金の設定範囲は、100円～9,000円で100円単位の設定になります。
使用できる硬貨は、100円と500円のみです。

6-4 予洗の時間を変更する時 (コース 1)

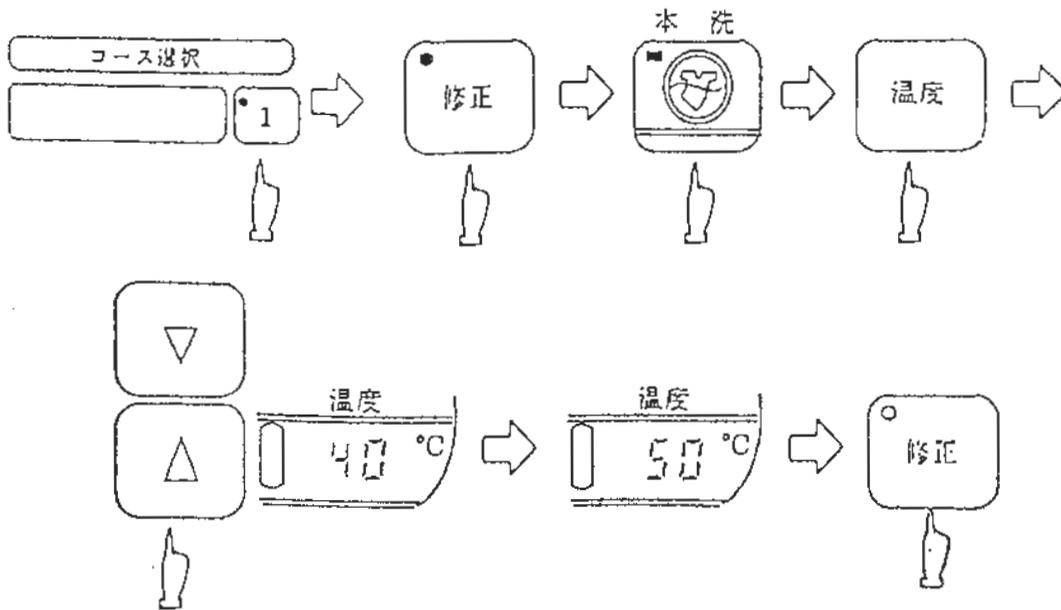
標準3分→5分に変更



※ 他のコースも同様の操作

6-5 本洗の温度を変更する時 (コース 1)

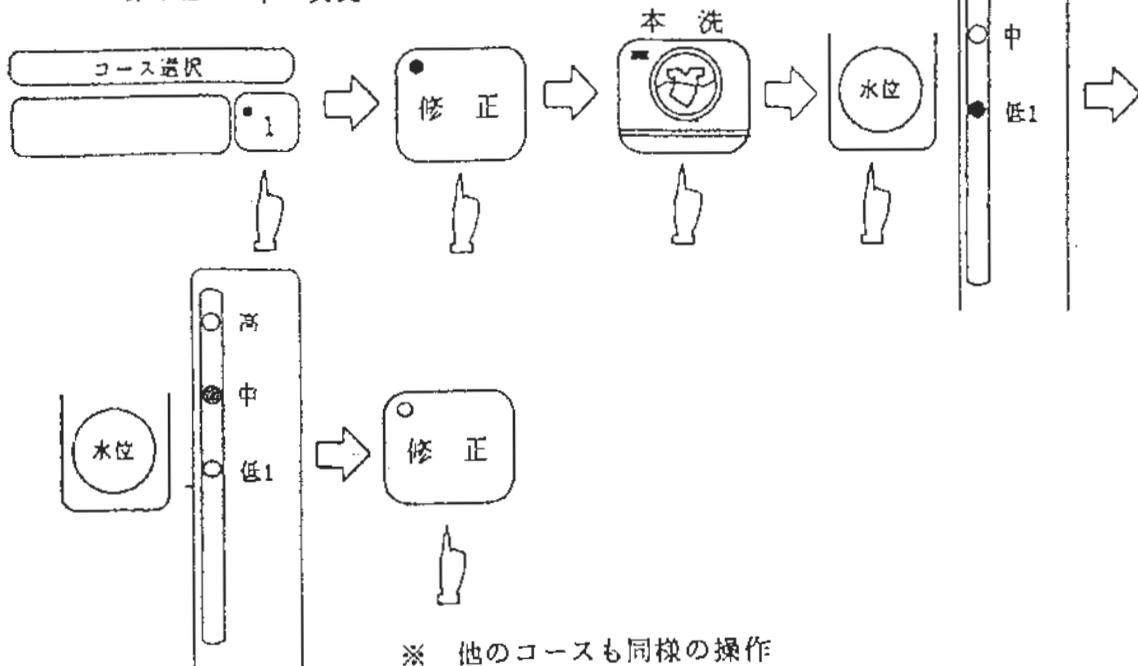
40℃→50℃に変更



※ 他のコースも同様の操作

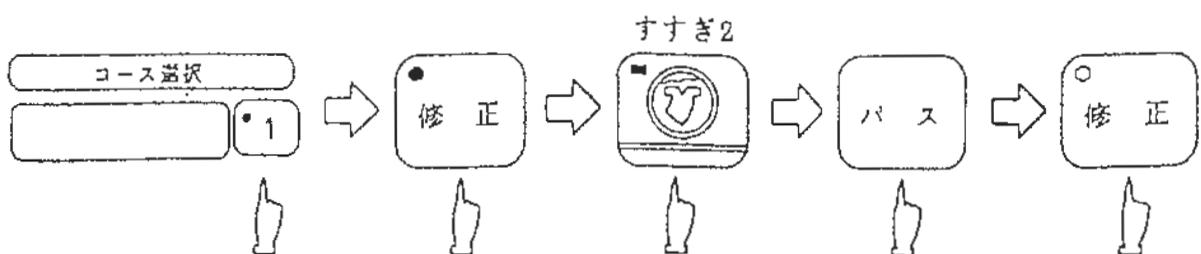
6-6 本洗の水位を変更する時 (コース 1)

標準低1→中に変更



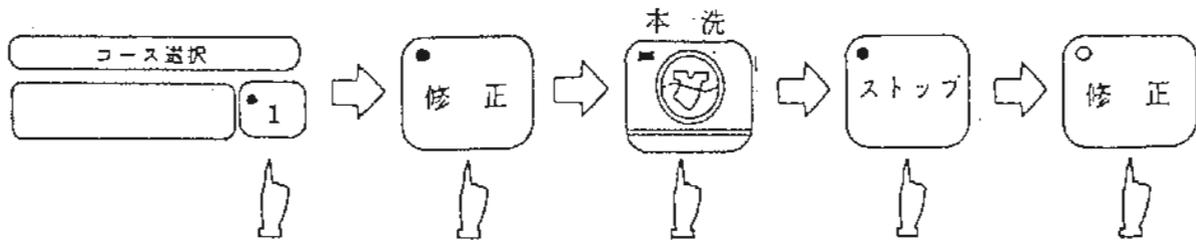
※ 他のコースも同様の操作

6-7 すすぎ2を削除 (コース 1)



※ 他のコースも同様の操作

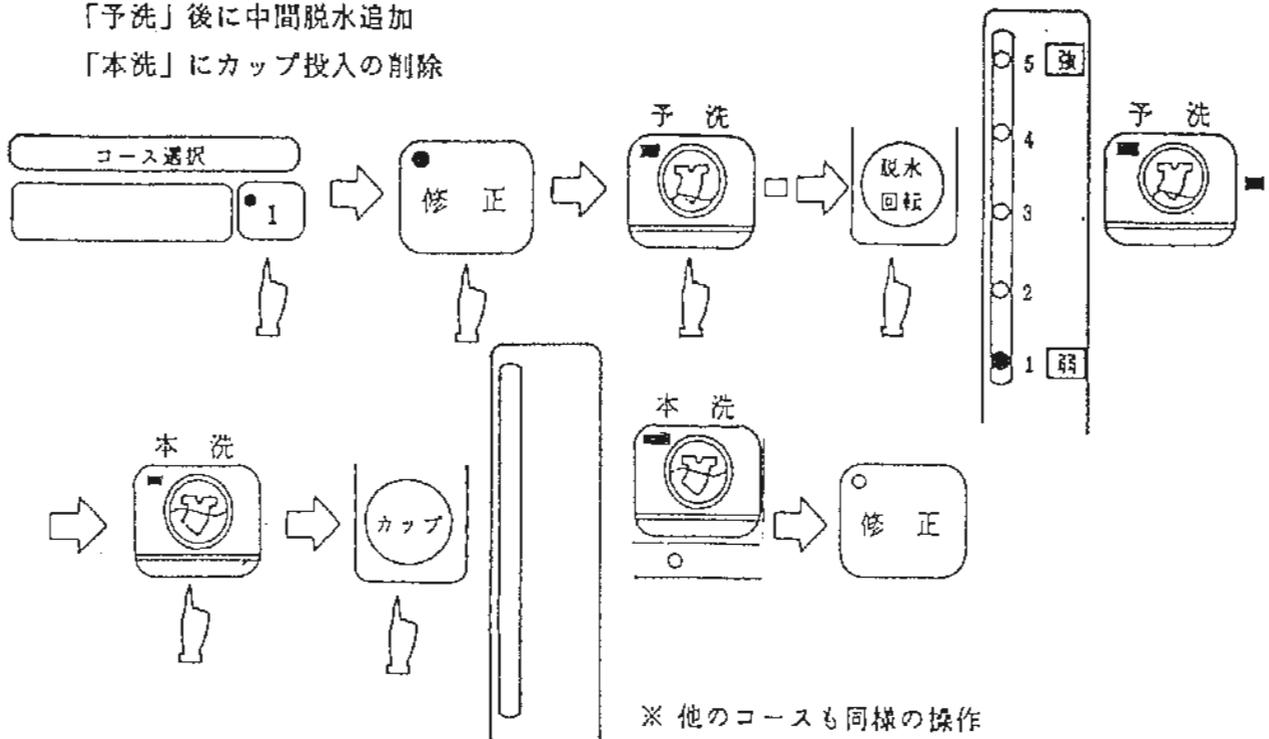
6-8 本洗の前で一時停止する時



動作 本洗工程の前にブザーが鳴り、一時停止の状態となる。
 スタートスイッチで再度運転になる。
 ※ 他のコースも同様の操作

6-9 中間脱水の追加とカップ投入の削除

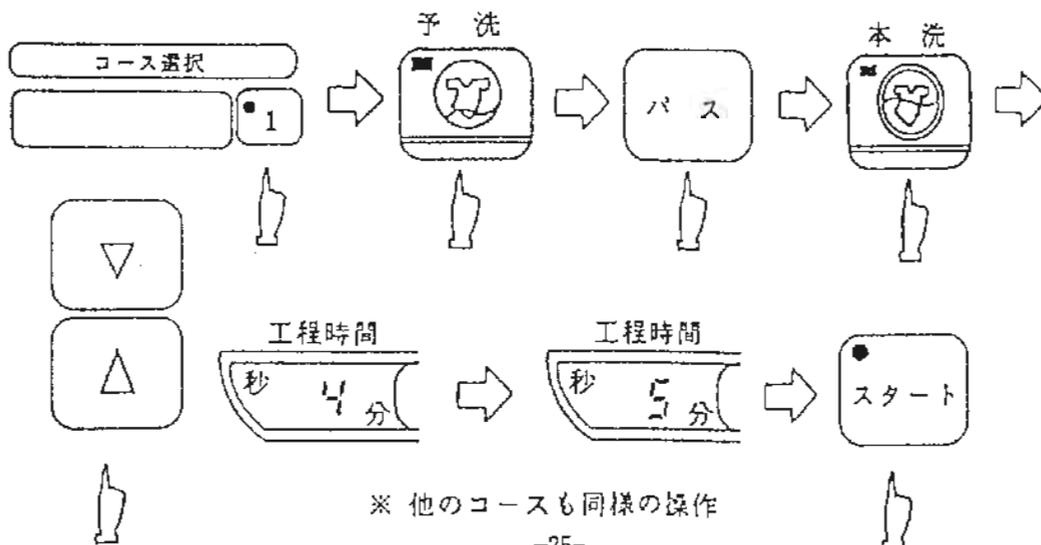
「予洗」後に中間脱水追加
 「本洗」にカップ投入の削除



※ 他のコースも同様の操作

6-10 一回書込みをする場合

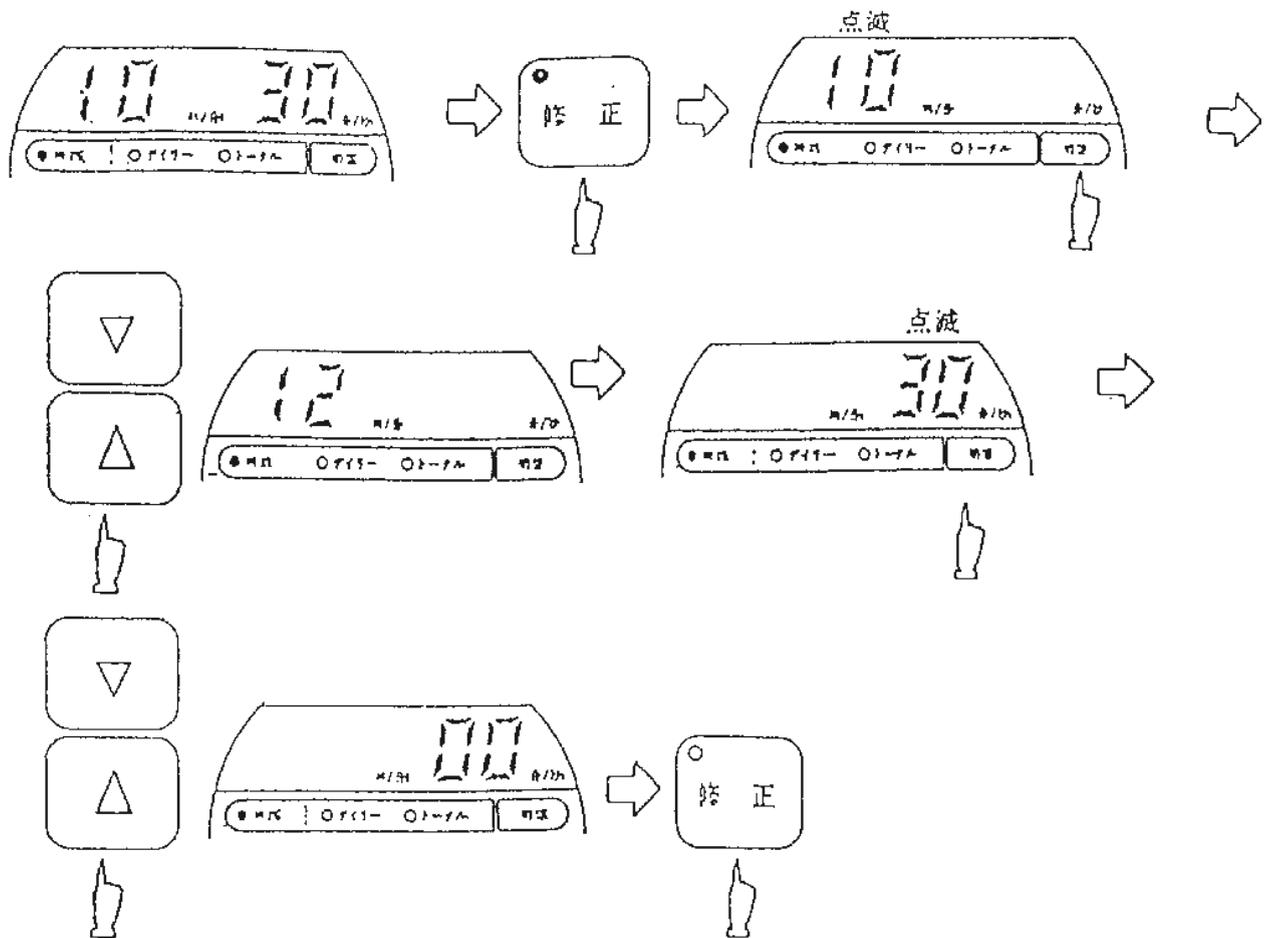
「予洗」を削除 「本洗」時間4分→5分



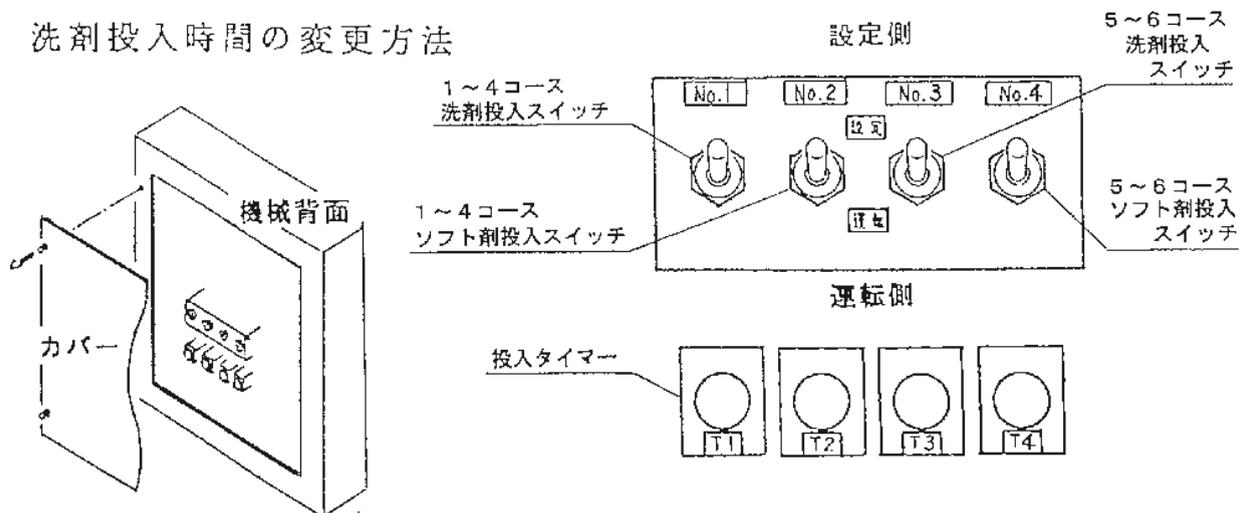
※ 他のコースも同様の操作

6-11 時刻の修正

10時30分→12時00分変更

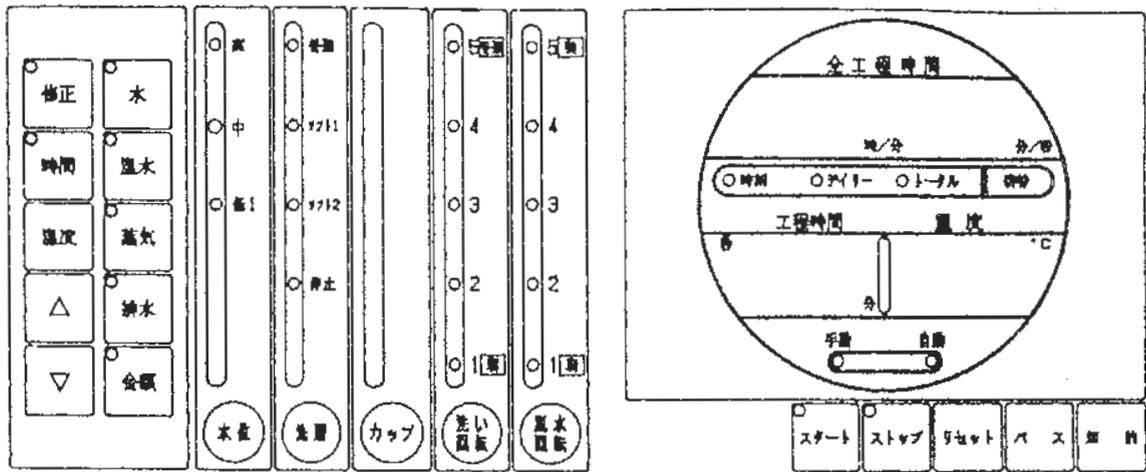


6-12 洗剤投入時間の変更方法

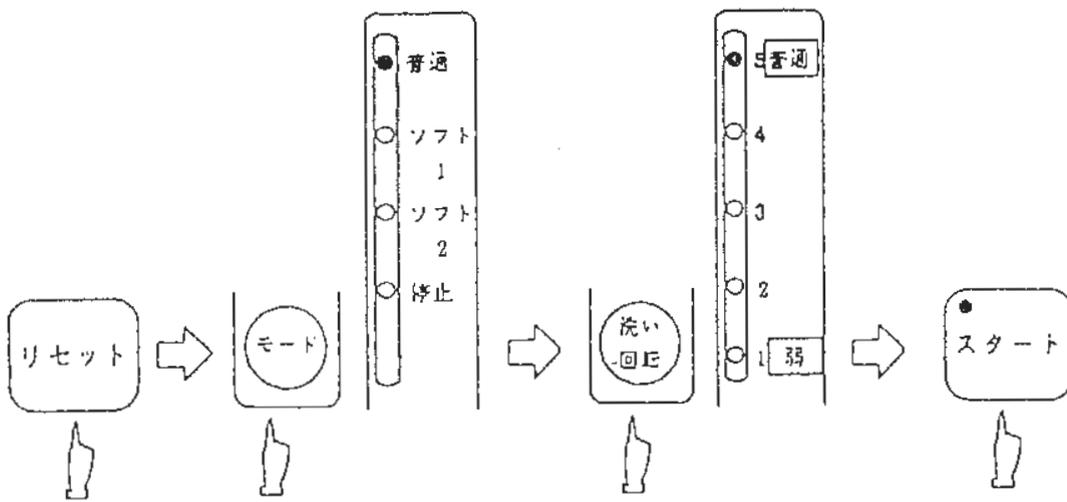


- ① 機械背面のカバーを取り外すと、中に設定タイマーと投入スイッチが取り付けられています。
- ② 希望の投入時間をタイマーにて設定し、投入スイッチを「設定側」に倒して下さい。
タイマーが起動し、洗剤が設定時間だけ投入されます。タイマーの時間を調整する時には、必ず投入スイッチを「運転側」に倒してからタイマーを調整し、再び投入スイッチを「設定側」に倒して下さい。
※タイマーは、MAX 30秒まで設定できます。
- ③ 投入時間の設定が終了したら、必ず投入スイッチは、「運転側」に倒して下さい。
- ④ 洗剤投入量は、洗剤によって異なりますが、1秒で20cc~25cc入ります。

7. 手動運転の操作例

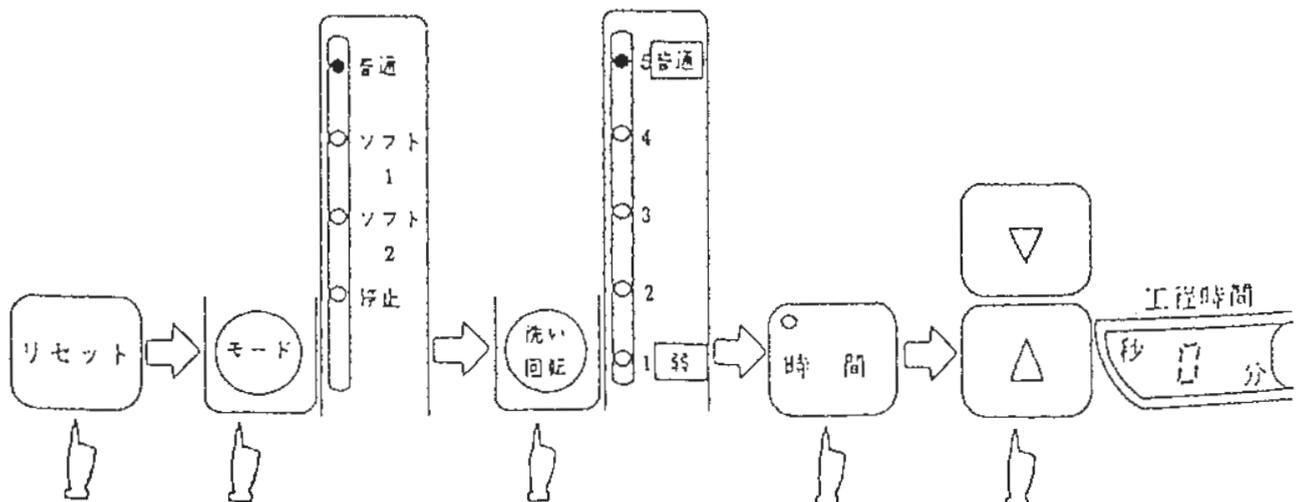


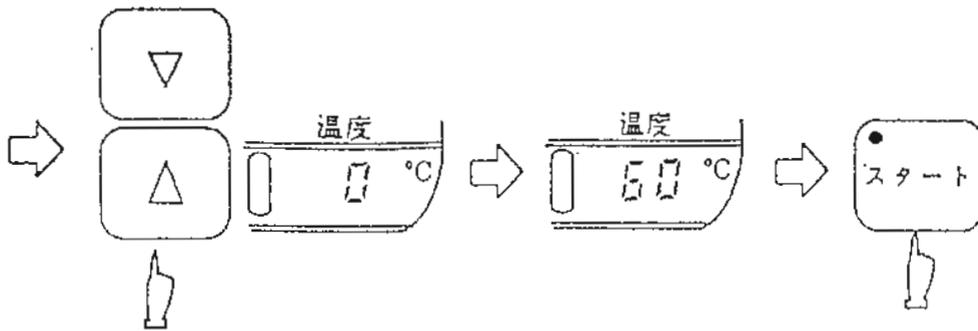
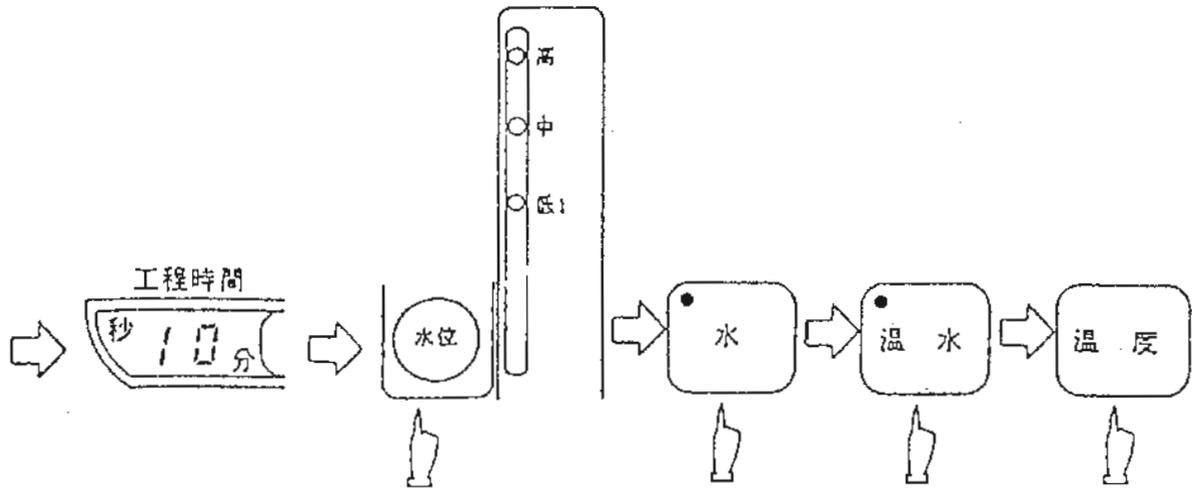
7-1 ドラム回転を行う場合 (モード-普通, 回数-5)



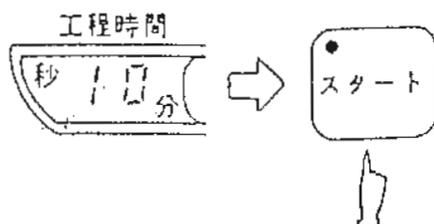
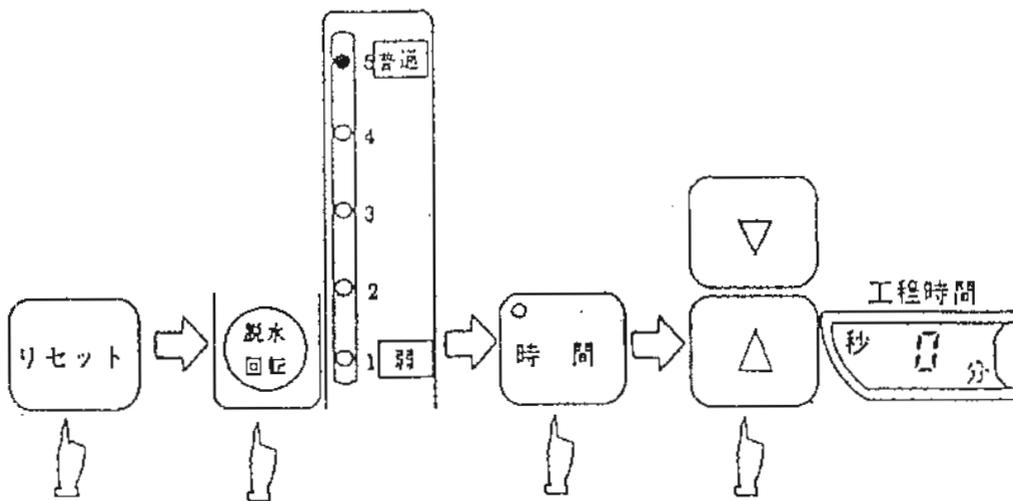
※ 手動運転において時間を設定しない場合、連続運転となります。
ストップスイッチにて任意に停止して下さい。

7-2 洗濯 (水量-中, 洗濯水-水, モード-普通, 洗い回数-5, 時間-10分, 温度-60℃)





7-3 脱水 (脱水回転-5、時間-10分)



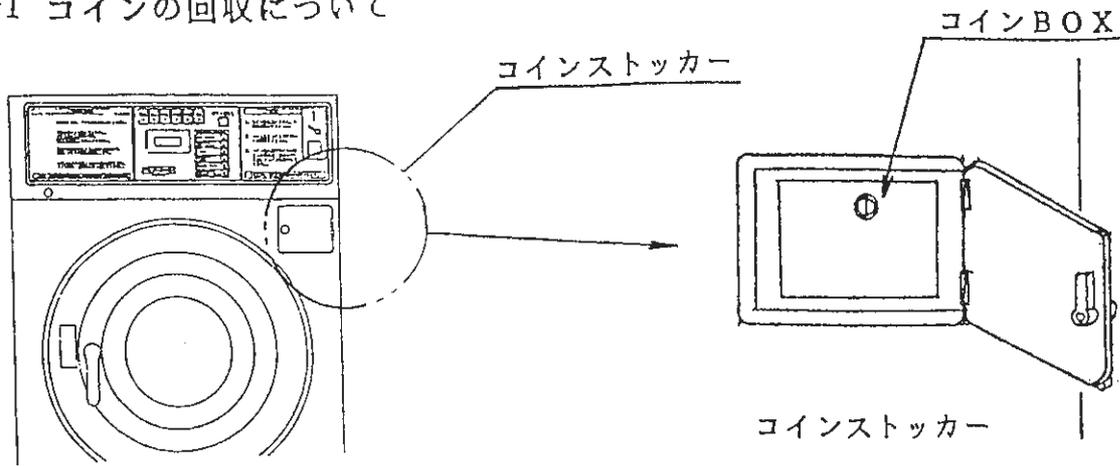
コイン布団洗浄機標準チャート (CFW-300)

コース	工程	予洗工程						本洗工程						すすぎ1工程						すすぎ2工程						すすぎ3工程						脱水工程	全行程時間	金額
		水位	モード	洗い 回転	給水 方法	設定 温度	洗剤	水位	モード	洗い 回転	給水 方法	設定 温度	洗剤	水位	モード	洗い 回転	給水 方法	設定 温度	洗剤	水位	モード	洗い 回転	給水 方法	設定 温度	洗剤	水位	モード	洗い 回転	給水 方法	設定 温度	洗剤			
1 コース	パラメーター							低	普通	普通 (5)	水	--℃	洗剤 1	中	普通	普通 (5)	水	--℃	--	中	普通	普通 (5)	水	--℃	--	中	普通	普通 (5)	水	--℃	ソフト 剤2	強 (5)	2分30秒	円
	工程時間	5分00秒						3分00秒						3分00秒						3分00秒						5分00秒								
	排水時間	1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						----								
	中間脱水時間	30秒						30秒						30秒						30秒						----								
2 コース	パラメーター	低	普通	普通 (5)	水 温水	40℃	--	低	普通	普通 (5)	水 温水	40℃	洗剤 1	中	普通	普通 (5)	水	--℃	--	中	普通	普通 (5)	水	--℃	--	中	普通	普通 (5)	水	--℃	ソフト 剤2	強 (5)	2分45秒	円
	工程時間	2分00秒						6分00秒						3分00秒						3分00秒						5分00秒								
	排水時間	1.5秒 (回転)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						----								
	中間脱水時間	--秒 (中脱無し)						30秒						30秒						30秒						----								
3 コース	パラメーター							低	普通	普通 (5)	水	--℃	洗剤 1	中	普通	普通 (5)	水	--℃	--	中	普通	普通 (5)	水	--℃	--	中	普通	普通 (5)	水	--℃	ソフト 剤2	強 (5)	2分30秒	円
	工程時間	5分00秒						3分00秒						3分00秒						3分00秒						5分00秒								
	排水時間	1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						----								
	中間脱水時間	30秒						30秒						30秒						30秒						----								
4 コース	パラメーター							低	普通	4	水	--℃	洗剤 1							中	普通	4	水	--℃	--	中	普通	4	水	--℃	ソフト 剤2	強 (5)	1分45秒	円
	工程時間	4分00秒						3分00秒						3分00秒						5分00秒														
	排水時間	1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						1.5秒 (回転/バランス)						----														
	中間脱水時間	30秒						30秒						30秒						----														
5 コース	パラメーター							高	--	3	水	--℃	洗剤 3	高	--	3	水	--℃	--	高	--	3	水	--℃	--	高	--	3	水	--℃	ソフト 剤4	強 (5)	2分00秒	円
	工程時間	5分00秒						1分00秒						1分00秒						1分00秒						7分00秒								
	排水時間	1分00秒 (回転/バランス)						1分00秒 (回転/バランス)						1分00秒 (回転/バランス)						1分00秒 (回転/バランス)						----								
	中間脱水時間	1分00秒						1分00秒						1分00秒						1分00秒						----								
6 コース	パラメーター							高	--	3	水	--℃	洗剤 3	高	--	3	水	--℃	--	高	--	3	水	--℃	--	高	--	3	水	--℃	ソフト 剤4	強 (5)	2分00秒	円
	工程時間	5分00秒						1分00秒						1分00秒						1分00秒						7分00秒								
	排水時間	1分00秒 (回転/バランス)						1分00秒 (回転/バランス)						1分00秒 (回転/バランス)						1分00秒 (回転/バランス)						----								
	中間脱水時間	1分00秒						1分00秒						1分00秒						1分00秒						----								

※ 6コースは、加工剤スプレー時間 (防ダニ剤) が設定されているので、脱水工程終了後加工剤スプレー工程処理 (初期値: 2分00秒/" S P L Y"表示) を行いコース終了を行う。

9. コインの点検回収

9-1 コインの回収について

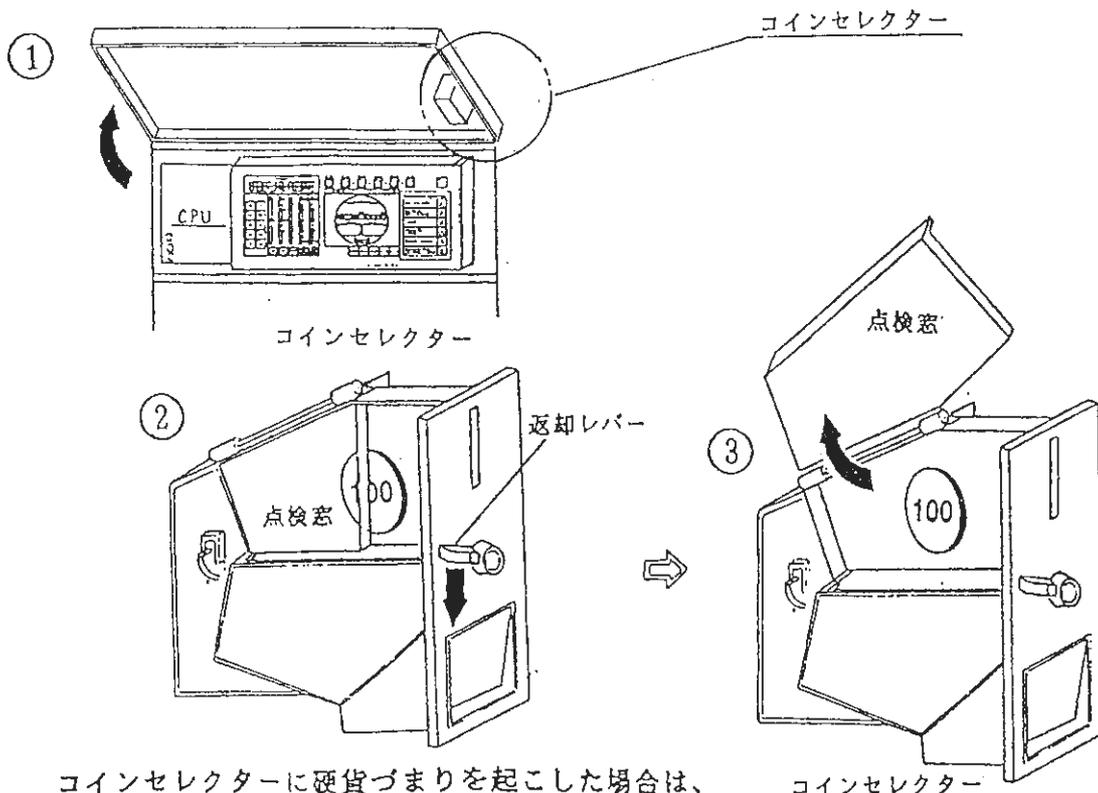


- ① コインストッカー開閉用キーにて、鍵を開けてストッカーブタを開けます。
- ② ストッカーブタを開けると中にコインBOXがありますので鍵を開けてコインBOXを手前に引き出して下さい。
- ③ コインBOX全体が取り出せますので、コインを回収して下さい。

※ コインBOXの集金については、使用量によって異なります。
使用量、留り具合に合わせて定期的な集金を行って下さい。

9-2 コインセレクターの点検

- ① フロントパネル全体を上にあげます。
- ② コインセレクターは、フロントパネルに取付けてあります。
- ③ コインセレクターの返却レバーを下げて左側の点検窓を確認して下さい。



コインセレクターに硬貨づまりを起こした場合は、返却レバーを押し下げると、⇐⇒の方向にカバーが持ち上りますので、手で大きく持ち上げてつまっている硬貨を取り除いて下さい。

10. 軸受部への給油

10-1 ベアリング部の給油

- 3ヶ月に1度又は 500ワッシャーに1度、メインシャフトのベアリングにグリスを補給して下さい。
(トラブルモニターの **給油** はグリス給油の目安にして下さい。)
- 指定グリスは下記の通りです。

ゼネラル石油	シェル石油	エッソ石油	出光石油
ゼニコグリス MP-2	シェル アルバニア2号	エッソ ビコーンNo.2	ダフニ コロネックスNo.2

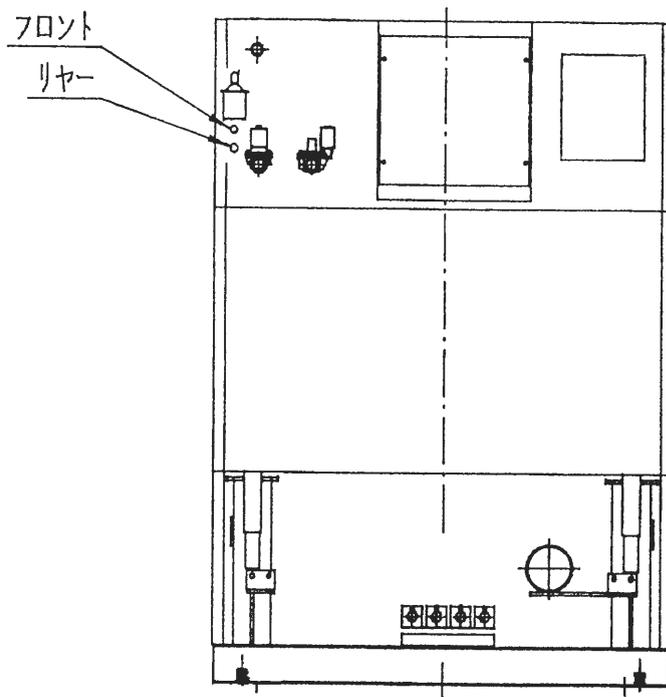
※ 工場出荷の際は、出光石油「ダフニ コロネックスグリスNo.2」が入っています。

補 給 量	
フロントベアリング側	20 (cc)
リヤベアリング側	40 (cc)

給油方法

機械背面のグリス注油口より、グリスポンプにて給油して下さい。

給油場所 (下図参照)



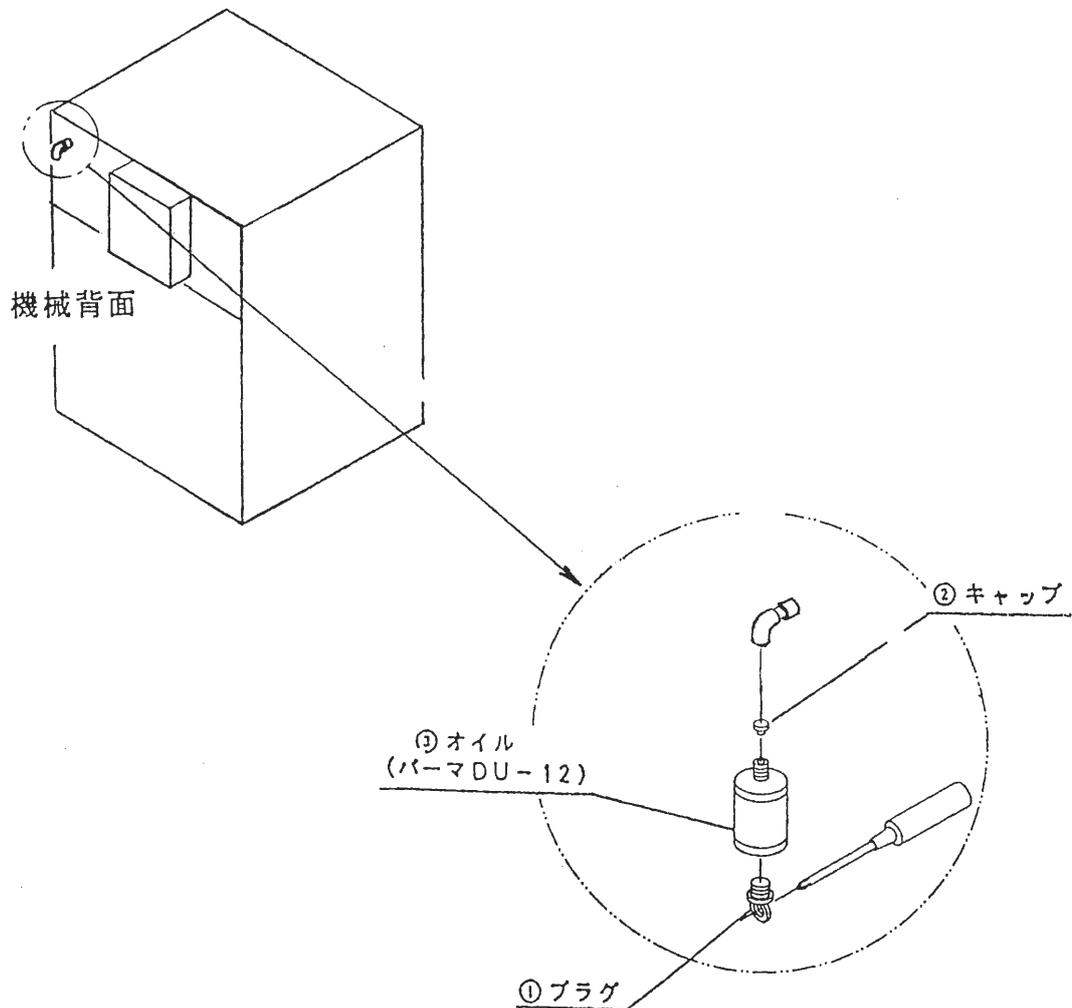
10-2 オイルシール部の給油

・本機の使用オイルは、パーマ DU-12です。（カートリッジタイプ）

・パーマ DU-12のライフは、約1年間です。（常温25℃）

取付日より1ヶ年経過したら新品（パーマ DU-12）と交換して下さい。

※ オイルの補給を怠りますと、オイルシールの早期摩耗の原因となります。



パーマ(DU-12) 取付方法

1. プラグ①（プラスチック）はドライバー等にて頭のリングがネジ切れる迄固く締込んで下さい。（給油を起動させる為です。）
2. キャップ②を外し、取付金具に手で固くネジ込んで下さい。
3. 取付日と次回の交換予定日を記入して下さい。
4. 使用済の③パーマ DU-12は、焼却処理して下さい。